

コード No. 10505

**Anti-  
Glucagon (52A1A) Rat IgG MoAb**

容量 : 50 µg

---

はじめに : グルカゴン (Glucagon) は、膵臓 α 細胞から分泌される、29 アミノ酸残基からなる分子量 3,485 のペプチドホルモンです。肝臓に作用し、グリコーゲン分解と糖新生によるグルコースの産生および放出を促進し、血糖を上昇させます。インスリン (Insulin) とともにグルコースホメオスタシスの制御に関与しています。

グルカゴンの前駆体であるプログルカゴンは、産生される細胞により異なるプロセッシングを受けるため、種々の類縁ペプチドを生じます。本抗体はグルカゴンの C 端を認識し、α 細胞で産生されるグルカゴンを特異的に検出します。

免疫抗原 : Proglucagon (76-81) 部分合成ペプチド (QWLMNT)

起源 : マウス×ラット ハイブリドーマ (培養上清)  
(X63 -Ag 8.653 × Wister ラットリンパ球)

クローン名 : 52A1A          サブクラス : IgG<sub>2a</sub>

精製方法 : Protein G 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 50 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存          5 年間安定  
溶解後 -20°C 保存      2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 0.1 µg/mL (パラフィン切片、凍結切片) にて使用可能

特異性 : Glucagon C 端と特異的に反応します。

交差種 : マウス、ヒト

文献 : 1. Honzawa N, et al. Protein Kinase C (Pkc)-δ Mediates Arginine-Induced Glucagon Secretion in Pancreatic α-Cells. *Int J Mol Sci.* 2022 Apr; 23(7):4003.